

寺を夷敷せしむるに及ばぬ程の修繕に了すべし
 の會展等々を以て之のすまざるは其の至極なり
 合則本會總より年々用ひて之を修繕三日半
 限由共夫盛合の修繕示書等修繕自宜之掛り
 十一年 次々無感
 寺の修繕の立案は其のすまざる
 丁波の兩修繕の立案も亦も修繕の本會總を以て
 する一は三日自費平山共修繕費對照修繕會を
 對して修繕する為め修繕會修繕費對照修繕會を
 修繕會の修繕費不測を亦も修繕費對照修繕會
 夫修繕の修繕費不測を亦も修繕費對照修繕會
 本會總を以て修繕費對照修繕會中日本共修繕

式八 財團協議會福岡出張所

法財八 協調會福岡出張所

半左記を覺書として四日午前一時山神社社前廣場に爭議圖を解散せり。

○ 解 決 事 項

- 1、採炭夫、畑進夫、仕繰夫、支柱夫に對し稼働一方に付金拾錢の生活費補助支給す
右を六月一日に遡り實施
- 2、労働時間は十時間とす
- 3、坑内請負夫にして現在見合必要の人を限り稼働資金中より毎日壹圓内拂す
右は二箇月以内適當の時期より實施す
- 4、諸掛の内容は明細發表す
- 5、舊社宅は漸次改造す
- 6、醫師は傷病患者に對し親切に取扱ふ